

平成11年8月25日
原子力安全対策課
(11-84)
<11時30分資料配布>

新型転換炉ふげん発電所の本格運転再開について
(第15回定期検査)

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

新型転換炉ふげん発電所（新型転換炉原型炉；定格出力16.5万kW）は、平成11年1月8日から第15回定期検査を行い、8月2日12時00分より定期検査の最終段階である調整運転に入っていたが、本日午後、科学技術庁および通商産業省の最終検査を受けて本格運転を再開する予定である。

新型転換炉ふげん発電所の原子炉給水ポンプの切替について

- ・ 事象概要：

定格出力で調整運転中 8 月 20 日 22 時 30 分頃、原子炉給水ポンプ（A・B 号機運転中、C 号機待機状態）のうち、B 号機の軸受温度の指示値に変動が認められたため、現場を確認したところ、B 号機のメカニカルシール部からの漏れが確認されたため、待機状態の C 号機に切り替えた。

漏れは建屋内のサンプに回収されており、環境への影響はない。また、このことによるプラントの運転にも支障はない。

漏れが認められた B 号機については、軸封部を交換し、待機状態に復旧している。軸封部については、工場へ搬出し、原因を調査する予定。

- ・ 国の取扱い：法律・通達対象外
- ・ 県の取扱い：安全協定に基づく異常事象対象外